

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

2018 年度（後期）指定公募

「在宅医療推進のための学会等への共催」完了報告書

一般社団法人日本エンドオブライフケア学会 第3回学術集会

「地域とつなぐ！アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

～介護から救急医療まで人生の物語を大切な人へ～」

学会名：一般社団法人日本エンドオブライフケア学会

申請者：西川 満則

提出年月日：2019年12月12日

学術集会を終えて

「公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による、日本エンドオブライフケア学会第3回学術集会を終えて」

日本エンドオブライフケア学会
第3回学術集会長
西川 満則（国立長寿医療研究センター）

エンドオブライフケアでは、市民と医療ケア提供者が、どう生き、どう逝きたいか、地域の中で語り合う文化の醸成が重要です。日本エンドオブライフケア学会第3回学術集会では、それが具現化できたと思います。

一般市民の皆さん、91名の方にご参加いただきました。60名を超えるボランティアの皆さんにも支えていただきました。お礼を申し上げます。

医師・看護師・ソーシャルワーカー、介護支援専門員・高齢者施設の相談員、リハビリテーションセラピスト、栄養士、教育者、研究者等、多職種、あらゆる対人援助職の参加がありました。一般演題では、目標演題数の151%にあたる140演題の発表がありました。参加者数は、目標の144%にあたる719名の参加がありました。介護系職種は、目標参加者数の43%にあたる64名にご参加いただきました。目標参加者数には届きませんでした。例年以上に、介護系職種の皆さんには、学術集会に大きな熱量を伝えていただきました。招聘講演者23名の皆様は、第3回学術集会に貴重な経験を与えて下さいました。本当にありがとうございました。

第3回学術集会を振り返ってみますと、本学術集会の特徴の一つは、当事者性だと思います。自らが病と向き合う当事者の皆さんは、学術集会に、体温や意味を与えて下さいました。感謝の念に堪えません。

参加者が顔を合わせ、自らの価値観を言葉にし、価値観コミュニケーションをすることができました。地域で、いのちについて語り合う文化の醸成のためのきっかけになる学術集会になりました。第3回学術集会は、第1回第2回の精神を受け継ぎ、第4回に続きます。この実り多き学術集会を継続して参ります。

2020年9月12日（土）13日（日）、第4回学術集会、岡山の地で会いましょう。

日本エンドオブライフケア学会 第3回学術集会事業完了報告書

開催日：2018年9月14日（土）～15日（日）

テーマ：「地域とつなぐ！アドバンス・ケア・プランニング(ACP)
～介護から救急医療まで人生の物語を大切な人へ～」

会場：名古屋大学医学部 基礎研究棟

開催主体

主催：日本エンドオブライフケア学会

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

開催助成：公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団

公益財団法人大幸財団

寄付：愛知県老人福祉施設協議会

株式会社エバ

スガキコシステム株式会社

大会長：西川満則（国立長寿医療研究センター在宅医療・地域連携診療部 地域医療連携室長）

参加者：800名 参加者構成（医療介護福祉職・学生710名・市民90名）

協賛企業一覧

【ランチョンセミナー】

- ・ 帝人ファーマ株式会社
- ・ 株式会社ジョイライフ

【出展】

- ・ 株式会社紀伊國屋書店
- ・ 大陽日酸株式会社中部支社
- ・ 株式会社 ヤマト
- ・ 株式会社 大塚製薬工場
- ・ 株式会社 ニホン・ミック
- ・ ネスレ日本株式会社 ネスレヘルスサイエンスカンパニー
- ・ 東洋羽毛東海販売株式会社
- ・ アボットジャパン株式会社
- ・ 帝人ファーマ株式会社
- ・ 株式会社 ジョイライフ
- ・ 株式会社 日総研出版

【広告】

- ・ヌーヴェルヒロカワ
- ・株式会社 全日本病院出版会
- ・フクダライフテック中部株式会社
- ・武田製薬工業株式会社
- ・株式会社 じほう
- ・株式会社 南山堂
- ・株式会社八神製作所
- ・ニプロ株式会社
- ・金原出版株式会社
- ・医歯薬出版株式会社
- ・エーザイ株式会社
- ・株式会社クレセント
- ・株式会社 永大企画

【後援団体】

- ・一般社団法人 愛知県社会福祉士会
- ・社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会
- ・一般社団法人 愛知県作業療法士会
- ・一般社団法人 愛知県薬剤師会
- ・一般社団法人 愛知県医療ソーシャルワーカー協会
- ・公益社団法人 東京都医師会
- ・公益社団法人 東京都介護福祉士会
- ・公益社団法人 東京都栄養士会
- ・一般社団法人 東京都医療社会事業協会
- ・公益社団法人 栃木県看護協会
- ・公益社団法人 千葉県看護協会
- ・公益社団法人 埼玉県看護協会
- ・公益社団法人 秋田県看護協会
- ・NPO 法人 生と死を考える会
- ・一般社団法人 愛知県介護福祉士会
- ・公益社団法人 愛知県看護協会
- ・公益社団法人 愛知県医師会
- ・公益社団法人 愛知県栄養士会
- ・公益社団法人 東京都薬剤師会
- ・公益社団法人 東京社会福祉士会
- ・公益社団法人 東京都歯科衛生士会
- ・公益社団法人 岡山県看護協会
- ・公益社団法人 北海道看護協会
- ・公益社団法人 愛媛県看護協会
- ・公益社団法人 福岡県看護協会

【介護系協賛】

- ・愛知県老人福祉施設協議会
 - ・愛知県介護支援専門員協会
- ・公益財団法人 愛知県シルバーサービス振興会
- ・一般社団法人 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会
- ・社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ホームヘルパー協議会
- ・一般社団法人 愛知県老人保健施設協議会
- ・名古屋市老人福祉施設協議会
- ・特定非営利活動法人 静岡県介護支援専門員協会
- ・特定非営利活動法人 岐阜県介護支援専門員協会
- ・一般社団法人 三重県介護支援専門員協会

- ・ 社会福祉法人 檸檬
- ・ 有限会社レモン介護サービス
- ・ 株式会社クレセント

プログラム

【9月14日（土）第1日目】

A会場（第4講義室）

- 開会の挨拶 9：25～9：30
- 委員会企画 9：30～11：20
EOLを支えるチームケア
 - 1) 地域におけるエンドオブライフケア
講師：秋山正子（NPO 法人マギーズ東京）
 - 2) 介護施設におけるエンドオブライフケア
講師：島田千穂（東京都健康長寿医療センター研究所）
座長：平原佐斗司（梶原診療所）
- 学術集会長講演 11：30～12：20
地域におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の進め方
演者：西川満則（国立長寿医療研究センター）
座長：小森栄作（ももたろう往診クリニック）
- ランチョンセミナー1 12：30～13：20
正しい姿勢は骨格から 一足裏に着目してー
主催：株式会社ジョイライフ
講師：邵 基虎（株式会社ジョイライフ）
座長：瀬口雄一郎（株式会社クレセント）
- 特別講演1 13：30～14：20
当事者として向き合う「人生会議(ACP)」の意味とその可能性
講師：金子稚子（終活ジャーナリスト）
座長：大島真理子（老テク研究会）
- 教育講演1 14：30～15：20
認知症の人と医療選択と意思決定支援
講師：成本迅（京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学）
座長：島内節（日本在宅ケア祥育研究センター）

●シンポジウム1 15:30~17:50

本人らしさを社会全体で支える介護

シンポジスト: 高井隆一(認知症鉄道事故裁判・遺族認知症の人と家族の会愛知県支部)

菊地和則(東京都健康長寿医療センター研究所)

松下繁行(南医療生活協同組合)

川津昭美(南医療生活協同組合)

瀬口雄一郎(株式会社クレセント)

遠藤英俊(国立長寿医療研究センター)

座長: 長江浩幸(総合病院南生協病院)

遠藤英俊(国立長寿医療研究センター)

B会場(第2講義室)

●口演発表: I群 10:30~11:20

ACP

座長: 佐藤一樹(名古屋大学大学院)

●教育講演2 13:30~14:20

死生観を醸成するための対話

講師: 大野裕美(豊橋創造大学)

座長: 内田恵美子(日本在宅ケア教育研究所)

●口演発表: II群 14:30~15:20

高齢者へのEOLケア

座長: 葉袋淳子(岐阜医療科学大学)

●シンポジウム2 15:30~17:50

救急現場における意思決定のジレンマ

シンポジスト: 山崎千草(東京女子医科大学病院)

宮林真沙代(成田記念病院)

相模春香(知多中部広域事務組合消防本部)

神谷悦功(国立病院機構東名古屋病院)

杉浦 真(安城更生病院)

熊田 均(日本弁護士連合会・愛知県弁護士会)

座長: 伊藤真理(川崎医科大学総合医療センター)

杉浦 真(安城更生病院)

C会場（第1講義室）

- 口演発表：事例・活動報告1 10：30～11：20

ACP

座長：横江由理子（いきいき在宅クリニック）

- 口演発表：事例・活動報告2 14：30～15：20

多職種連携

座長：山本純子（大手前大学）

- 口演発表：事例・活動報告3 15：30～16：20

在宅での看取り

座長：福田由紀子（人間環境大学）

- 口演発表：事例・活動報告4 16：30～17：20

EOLケア

座長：長江弘子（東京女子医科大学）

D会場（ゼミ室301）

示説1群：B1-1～18 11：00～16：00

E会場（ゼミ室302）

示説1群：B1-19～35 11：00～16：00

F会場（会議室2）

- 交流集会I 9：30～11：20

”おたがいさまシート”をつかってみよう

西岡麻知子（南医療生活協同組合 地域ささえあいセンター）

- 交流集会2 12：30～14：20

「もしバナゲーム™」を楽しんじゃいませよ！

荻野美恵子（国際医療福祉大学）

- 交流集会3 14：30～16：00

タナトロジーカフェへようこそ

大野裕美（豊橋創造大学）

- 委員会企画 16：10～17：40

抄録を書き、学会で発表してみよう！

座長：小笠原知枝（人間環境大学）

9月15（日）第2日目

A会場（第4講義室）

- 特別講演2 9：30～10：20
医療記者から見た「アドバンス・ケア・プランニング」
講師：安藤明夫（中日新聞編集委員）
座長：鶴若麻理（聖路加国際大学）
- 特別講演3 10：30～11：20
意思決定を支援すること ～当事者×セラピストとしての体験を通して～
講師：押富俊恵（NPO 法人ピーストレランス）
座長：野田智子（江南厚生病院）
- 総会 11：30～12：00
- ランチョンセミナー2 12：10～13：00
本人の意思決定を尊重するために、ICTを用いてACPをつなぐ方法
主催：帝人ファーマ株式会社
講師：岡村紀宏（社会医療法人恵和会 西岡病院）
座長：西川満則（国立長寿医療研究センター）
- 委員会企画 13：10～14：10
研究を実施する上での倫理的配慮について考えよう
講師：足立智孝（亀田医療大学大学院）
小野若菜子（聖路加国際大学大学院）
佐藤真由美（国際医療福祉大学大学院）
座長：鶴若麻理（聖路加国際大学）
- 教育講演3 14：20～15：20
日本初のエビデンス、COPD患者の呼吸困難に対するモルヒネの効果
講師：松田能宣（国立病院機構近畿中央呼吸器センター）
座長：坂本雅樹（名古屋徳洲会総合病院）

B会場（第2講義室）

- 口演発表3 9：30～10：20
EOLC教育
座長：吉岡さおり（京都府立医科大学）
- 口演発表4 10：30～11：20
がん・心不全患者へのEOLC
座長：安藤詳子（名古屋大学大学院）
- 口演発表5 13：10～14：00
多職種連携

座長：村岡宏子（順天堂大学）

●口演発表 6 14：20～15：20

EOL ケア・グリーフケア

座長：彦 聖美（金城大学）

C 場（第1講義室）

●口演発表：事例・活動報告 5 9：30～10：20

その他

座長：島田千穂（東京都健康長寿医療センター）

●口演発表：事例・活動報告 6 10：30～11：20

活動報告

座長：浅見 洋（石川県立看護大学）

●交流集会 7 13：10～14：10

オマハシステムを活用し、エンドオブライフケアを「見える化」しよう
—事例展開と IT 化した日本語版オマハシステムを用いた実践の紹介—

企画者：社）オマハシステムジャパン理事

酒井昌子、片山陽子、岩本大希、藤野泰平、吉江悟、長江弘子

●交流集会 8 14：20～15：20

ACP の普及啓発活動

座長：杉浦 真（安城更生病院）

D会場（ゼミ室301）

示説 2 群 B2-1～19 11：00～16：00

E会場（ゼミ室302）

示説 2 群 B2-20～38 11：00～16：00

F会場（会議室2）

●委員会企画 9：30～11：20

自分に立ち戻り、自分の人生で何が大切か考えられる場所
～病院でも在宅でもないマギーズ東京からの視点～

講師：岩城典子（認定 NPO 法人マギーズ東京）

海津未希子（みその生活支援クリニック）

杉山ひろみ（マギーズ東京来訪者）

山本康太（マギーズ東京来訪者）

座長：長江弘子（東京女子医科大学）

- 交流集会 4 12：10～12：50
市民・多職種のための参加型ワークショップの経験から学ぶ
座長：片山陽子 （香川県立保健医療大学）
- 交流集会 5 13：00～13：30
諸外国の ACP に触れ、日本の ACP を見つめなおす
座長：高橋在也 （千葉大学）
- 交流集会 6 13：40～14：10
余命半年の当事者の世界を聴く
座長：内田陽子 （群馬大学大学院）
- 市民公開講座 7 14：20～15：50
自分らしい人生の旅立ち・看取りを考える集い
～市民と医療職のまなざしが交わる～
プロデュース：西村高宏 （福井大学）
 近田真美子（福井医療大学）
 高橋在也 （千葉大学）

